

教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
数学	数学B	2年	履修	2単位

目 標	数列，ベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに，それらを活用する態度を育てる。
評価の 観点	<p>(1) 関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 等差数列や等比数列などを用いて，簡単な数列の規則性を発見できるようにする。 自然数に関する命題を証明する方法として数学的帰納法の有用性について考える。 実生活にある事象を，数列やベクトルを用いて数学的に処理する態度を養い，その有用性を認識する。 ベクトルの考えを用いて図形の性質を調べるとき，図形を自由ベクトルや位置ベクトルでとらえなおすなど，その見方を豊かにする。 <p>(2) 数学的な見方や考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の学習を通して，実生活にある事象の規則を数値で表し，一般化によって推定することの有用性を認識する。 数列の漸化式から一般項を推定し証明するなどの考察を通して，論理的な思考力を養う。 平面上のベクトルの性質がそのまま空間のベクトルでも成り立つことの有用性を認識する。 座標による解析的な図形の性質を、見通しを持ってベクトルで論理的に考察できるようにする。 <p>(3) 表現・処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の和を記号Σを用いて表すことや数列を漸化式で表すなど，いろいろな数列の表し方ができるようにする。 数列に関する命題を数学的帰納法で証明する方法を修得する。 具体的な事象を数列やベクトルで表し，数学的に処理できるようにする。 図形をベクトルで表現したり，図形の性質をベクトルで証明したりする。 <p>(4) 知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 等差数列・等比数列などの数列の一般項や和およびΣの意味を理解し，公式を生み出したり活用したりする。 漸化式と数学的帰納法の意味を理解し，論理的考察ができるようにする。 平面上のベクトルや空間のベクトルの演算と成分および内積の性質や公式について理解を深める。 ベクトルを用いて図形の性質を考察し，その証明などに活用できるようにする。
教科書	数研出版 改訂版「新編」数学B（普通クラス）
補助教材	数研出版 3 TRIAL 数学II+B（普通クラス）
授業方法及び形態	習熟度別授業 (2クラス3展開)（普通クラス）
成績評価	考查、授業態度、課題、勤勉
考 査	中間考查 (1,2 学期)、期末考查 (1,2,3 学期)
履修上の 注意	特になし